

## 希望の光

11月10、11日にスポーツ大会を実施しました。今回は保護者の皆様にもご参観いただくことができました。昨年4月、コロナウイルスの感染拡大が始まって以来、お子様の学校での様子を見る機会を提供できずにいたことを心苦しく思っていました。スポーツ大会の日、多くの皆様が笑顔で来校し、笑顔で帰られたこと、また、翌日の連絡帳などで感謝やねぎらいのお言葉を多数いただけたことを、我々全教職員心より喜んでおります。また、参観に際し、感染予防対策にご理解・ご協力いただいたことにつきましても、心より感謝申し上げます。この大会は、異なる二つの学年の組み合わせ（1・6年生、2・5年生、3・4年生）で行われましたが、それぞれの学年の特色や性格が融合し、新しい何かを生み出した印象でした。

初めてのスポーツ大会で張り切る一方、戸惑い不安がる1年生をしっかりと支え励ました6年生が、とても大人に見えました。1年生がやがて高学年になったとき、この日の経験から、きっと下級生を温かく支えてくれるでしょう。大切なことがひとつ、引き継がれた歴史的瞬間でした。

2年生は身体を反らせて応援歌を元気いっばいに歌うなど、大会そのものを盛り上げてくれました。5年生は、各係の仕事から実況中継まで、大会全体の運営に使命感を持って見事にやり遂げました。半年後、頼れる最上級生になる準備ができていることを証明してくれました。

3年生は、今生活している校舎の中では最上級生です。大会中もその行動や体力が、昨年とは比べ物にならないくらい成長したことを感じさせてくれました。4年生は、子どもらしい活力を存分に発揮しながらも、視野の広さや考えの深さが備わりつつあることを実感しました。4年生代表選手による選手宣誓を以下にご紹介します。「宣誓！私たちは今日、楽しみにしていたスポーツ大会を迎えることができました。コロナ禍の中、これまでのように友達と一緒に練習することが、当たり前ではなくなったことで、友達と同じ時間を過ごし、励まし合い、喜び、時には悔しい思いをする、そんな時間の大切さを知ることができました。そして、この場に立てたことを先生方に感謝、家族に感謝します。ありがとうございました。

今、この時間にも苦しい思いをされている方々がいます。私達自身が希望の光となり、たくさんの方々へ希望を届ける大会にするため、感染予防をしっかりと行いながら、『あきらめずに最後まで協力し楽しく頑張ろう』のスローガンのもと、精一杯プレーすることをここに誓います！」

このスポーツ大会をご覧になった方なら誰もが、子どもたちの一生懸命な姿に元気や笑顔、癒しをもらったのではないのでしょうか。この日の彼らは、間違いなく「希望の光」でした。目の前にはいないけれど苦しんでいる人に心を寄せること、どんな環境下でも感謝を忘れないこと、そして子どもは本来の子どもらしくあることが、世の中の「希望の光」になるのだと教えてくれました。

さて、スポーツ大会中に印象に残った場面がもう一つあります。それは、スタートラインに立った低学年の子が、ゴール近くで見守っていたお母さんに大きな声で「ママー！ぼく頑張るから応援してねー！」と叫んでいた場面です。お父さん・お母さんに活躍しているところを見せて喜ばせたい、お父さん・お母さんが見ていてくれるから頑張れる、そんな親子関係って本当に素敵だなと思いました。表現方法は子どもにより千差万別ですが、やはり自分の親が見ているとなれば、うれしいし、張り切るものです。今回の大会が盛り上がったのも、保護者の皆様の存在のおかげです。